



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.849 2012年9月10日

ARIBからのお知らせ

平成 24 年電波の日記念講演会の講演内容の Web 掲載について

本年 6 月 5 日に明治記念館で開催された情報通信月間「電波の日記念講演会」の講演内容を、ARIB の Web サイトに掲載いたしましたので、お知らせいたします。

ARIB トップページ (<http://www.arib.or.jp/index.html>) の「平成 24 年電波の日記念講演会」のアイコンから以下の講演内容をご覧ください。

- 講演 1 基調講演 「電気通信政策の最近の動向について」
総務省 総合通信基盤局長 桜井 俊 氏
- 講演 2 「新時代に向けた ICT によるサービスイノベーション」
日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 宇治 則孝 氏
- 講演 3 「動き出した「NOTTV」 ～スマートフォン向け放送局～」
株式会社mm b i 代表取締役社長 二木 治成 氏
- 講演 4 「安心・安全で快適なスマート社会実現への取り組み」
沖電気工業株式会社 代表取締役社長 川崎 秀一 氏

なお、昨年平成 23 年の講演内容につきましては、ARIB 会員のページに「電波の日記念講演会」を新設し、その中に移動し再掲載いたしました。

平成 24 年度「受信環境クリーン月間」の実施について

(10 月 1 日から 10 月 31 日)

今日、テレビ放送やラジオ放送は、誰もが様々な情報を手軽に得るために、また、生活に潤いをもたらすものとして、日常生活に必要不可欠なメディアとなっています。しかし、一方で、テレビ放送受信用ブースター、パソコンなど電気・電子機器からの雑音、無線局からの混信、建造物による放送電波のしゃへい・反射などを原因とする放送の受信障害が発生しています。

ARIB も参加している受信環境クリーン中央協議会（会長：一般財団法人情報通信振興会理事長）は、こうした受信障害の防止を図ることを目的として、昭和 29 年(1954 年)、関係省庁、関係業界団体などの協力によって設立された任意団体で、現在、地方ブロックを単位とする地方協議会及び地方協議会の内部組織として府県などを単位とする府県連絡会から構成されています。

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、各地方協議会及び地方協議会の内部組織である府県連絡会と協力して、全国各地で放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。

本月間中は、建造物障害対策、テレビ放送受信用ブースター障害対策、電気雑音障害対策、無線局障害対策を柱に、関係団体などの協力を得て、セミナー・講習会の開催、相談所の設置、調査・パトロールを実施するとともに、NHK、民放各社の協力のもとに広報番組を放送するほか、業界紙などへの記事掲載、ポスターの掲示、リーフレットの配布など幅広い周知・広報活動を行っています。

また、本活動の一環として、総務省・文部科学省・NHK・(一社)日本民間放送連盟の後援のもとに、全国の中学生を対象に「受信環境クリーン図案コンクール」を実施し、未来を担う青少年の啓発にも取り組んでいるところです。

放送電波の受信障害は、時代とともに多様化・複雑化してきています。また、電気機器などの不適切な取扱い、例えばテレビ放送受信用ブースターの感度(利得調整)の上げすぎや配線不良などが原因で広い地域に受信障害を発生させることもあります。

したがって、その防止・解消には、多くの方々の日頃からの注意・取組が不可欠です。「受信環境クリーン月間」を機に、電波障害の防止になお一層の御理解と御協力をお願いします。

「受信環境クリーン月間」Webサイト：<http://www.clean-kyou.com/05clean/index.html>

連絡先：受信環境クリーン中央協議会事務局

TEL: 03-3940-3981

(一般財団法人情報通信振興会内)

ARIBの動き

「無線 LAN システム調査研究会」の設置について

無線 LAN システムについては、スマートフォントラヒック等のオフロード化を初めとして利用が急速に拡大している中、無線 LAN システムの干渉・輻輳等によるスループットの低下等の利用上の問題が顕在化しており、今後も信頼性を維持し効率的に運用していくためには技術的な課題や運用上の課題を明らかにし、それらの課題解決に向けた方策の検討が必要となっています。

このような検討及び対策は、個別企業の取り組みには限度があり、無線 LAN システムの整備・運用に係わる様々な機関、団体、企業等が協力して実施する必要があるため、ARIBにおいて実施してもらいたいとの要望が ARIB 会員から寄せられました。

本要望を受け、第 195 回技術委員会(通信分野、平成 24 年 8 月 29 日開催)において審議の結果、無線 LAN システムに関する今後の各種課題について調査研究することを目的として、技術委員会の下に、「無線 LAN システム調査研究会」の設置が承認されました。

調査研究会のメンバーは、参加を希望する ARIB 会員及び参加を依頼する学識経験者等から構成されます。現在、ARIB 会員に対しメンバー募集(締切日：平成 24 年 9 月 14 日(金))が行われています。メンバー募集については、調査研究会事務局から各会員の ARIB 窓口に連絡(8 月 31 日付メール)を行っていますので、そちらにお問い合わせをお願いします。

ブラジル・SET2012等の概要について

8月20日から23日までブラジル・サンパウロのイミグランテス・エキスポ・センターにおいて、ブラジルTV技術協会（SET : Brazilian Society of Television Engineering）による第25回SET2012が開催され、放送機器の展示やTV技術に関する講演が行われました。

SET2012の機器展示においては、総務省の企画により今回初めて日本ブースが設置され、85インチスーパーハイビジョン液晶ディスプレイ、緊急警報放送システム（EWBS）、モバイルマルチメディア放送（ISDB-Tmm）、携帯端末・STB等の地デジ関連技術や新たな通信・放送連携サービスの他、各放送局の放送コンテンツなど約20社がデモや展示を行い、我が国の地上デジタル放送サービスや最新の技術・システム等について中南米各国からの来場者にアピールしました。

講演プログラムでは「国際セミナー」セッションにおいて、渡邊 DiBEG 議長が「ISDB-T in the world」と題し、①ISDB-Tの国際展開状況、②モバイルTV用のISDB-Tmm、③日本におけるアナログ放送終了、④SET2012の日本ブースで展示している最新の放送技術の4つのトピックスについて講演され、約80人が熱心に聴講していました。

主催者からは、SET2012の出展者数は192社、総来場者数は約9100名との発表がありました。

また、SET2012の場を利用して8月20日にISDB-T国際ナショナルフォーラム・技術調和WGが開催されました。このWGは、中南米におけるISDB-Tの技術調和文書等について来年5月にウルグアイで開催予定の同フォーラム技術会合での合意を促進するために開催されたものです。参加国は日本、ブラジル、チリ(事務局を担当)、ペルー、エクアドルの5か国で、日本からは、総務省、JICA 専門家、ARIB から約10名が参加しました。

WGでは、EWBS、ミドルウェア、ハードウェアの3つのセッションで検討が行われ、このうち日本がコーディネータを務めるEWBSでは、阪口専門家がエリアコードの割り当てや運用方法などについてプレゼンを行い意見交換しました。また、阪口専門家は任期を終えるためコーディネータを吉見専門家に引き継ぐことが伝えられました。ミドルウェアとハードウェアについては、各国の状況の確認や意見交換がなされました。



初出展のジャパンプース



渡邊 DiBEG 議長によるプレゼン

**「ホワイトスペース利用システムの運用調整の仕組み 中間とりまとめ（案）」
に対する意見募集**

【平成 24 年 8 月 31 日の総務省報道資料から】

ホワイトスペース推進会議では、ホワイトスペースの活用に向けて、「ホワイトスペース推進会議 ホワイトスペース利用作業班」（主査：森川 博之 東京大学先端科学技術研究センター教授）を開催しています。

本作業班における中間とりまとめ（案）について、平成 24 年 9 月 1 日（土）から同年 10 月 1 日（月）までの間、広く意見を募集します。

1 経緯

ホワイトスペース推進会議は「ホワイトスペース推進会議 ホワイトスペース利用作業班」（以下「作業班」といいます。）を開催し、ホワイトスペースの活用に向けて検討を進めています。

この度、作業班において中間とりまとめ（案）を取りまとめました。

つきましては、「ホワイトスペース利用システムの運用調整の仕組み 中間とりまとめ（案）」に対し、意見募集を行います。

なお、この中間とりまとめ（案）は、特定ラジオマイクとエリア放送の運用調整の仕組みや、その他のホワイトスペース利用システムの運用調整等についての作業班における検討結果を取りまとめたものです。

今後、本意見募集結果を踏まえて、中間とりまとめを取りまとめ、作業班において引き続き最終とりまとめに向けた議論を進めていく予定です。

2 意見募集について



(1)募集対象

ホワイトスペース利用システムの運用調整の仕組み 中間とりまとめ（案）（別紙 1 )

(2)提出期限

平成 24 年 10 月 1 日（月）正午必着

（ただし、郵送については、平成 24 年 10 月 1 日（月）必着とします。）

詳細については、募集要領（別紙 2 )及び意見提出フォーマット（別添 )をご覧ください。

なお、本意見募集については、総務省ホームページ（<http://www.soumu.go.jp>）の「報道発表」欄及び電子政府の総合窓口 [e-Gov]（<http://www.e-gov.go.jp>）の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡先窓口において配布します。

3 留意事項

(1)意見の取扱い

提出された意見は、中間とりまとめの参考とさせていただきます。意見内容については、募集期間終了後、とりまとめて公表する予定です。その際、提出された方の氏名及び所属（法人等にあつてはその名称）に関する情報についても併せて公表する場合があります。これらの公表に不都合がある場合は事務局まで御連絡ください。

なお、意見に対する個別の回答は致しかねますので御了承ください。

(2)意見内容の聴取

提出された意見内容の詳細を把握するため、意見提出者からの説明をお願いすることがあります。説明をお願いする場合は、事務局より意見提出者に事前に連絡しますので、あらかじめ御了承ください。なお、説明に当たり発生する交通費等は支給されません。

4 意見の提出先

ホワイトスペース推進会議

ホワイトスペース利用作業班事務局

(総合通信基盤局電波部電波政策課)

担当：鈴木周波数調整官、松元第一計画係長、藤田官

電話：03-5253-5875 (直通)

FAX：03-5253-5940

E-mail：ws_soumu_atmark_ml.soumu.go.jp

(※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。送信の際には、「@」に変更してください。)

【参考】

○ホワイトスペース推進会議 ホワイトスペース利用作業班

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/whitespace/index.html

お知らせ

本年4月より始めました「会員だより」はおかげさまでご好評をいただいております。つきましては、さらに会員相互の情報交流を進めるべく、再度記事の寄稿をお願いする次第であります。下記の要領で、「会員だより」に掲載する記事をご提供いただければと存じますので、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

記

1. 寄稿をお願いする情報の事例

- (1) 会社のユニークな取り組みや特徴をアピールしたいとき
- (2) 活動したいテーマがあり、その活動への参加を広く会員に求めたいとき
- (3) アンケートやイベントへの参加などを広く会員に求めたいとき
- (4) 新規のサービス(製品)の発表を広く会員に情報提供したいとき
- (5) その他、ARIB ニュースを通して、ビジネスパートナーのマッチングの機会を求めたいとき

2. 寄稿の要領

図表やイラストなどを含めて1ページ(A4版)以内にまとめて頂き、「会員だより」に掲載する記事の寄稿であることを明記の上、掲載予定日の1週間前までに、事務局まで送付頂くようお願いいたします。なお、「会員だより」は当方からの掲載時期の指定などはありません。ご希望の時期に掲載するようにいたします。

連絡先：一般社団法人電波産業会 企画国際部

E-mail: arib_news@arib.or.jp

編集後記

今年の夏も猛暑が続きました。若かりし頃を思い起こすと、夏休みに海やプールに行く計画をしても、その日が30度を超すかどうかは、運を天に任せる状況だったかと思います。将来の温暖化が少し気になります。(T.K.)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp